

事業名	博物館アウトリーチ事業「ちいさな・はくぶつかん」				評価実施者	所属	美術自然史館	
					職・氏名	主査 半井 仁		
事業の概要	開始年度	根拠法令等				特定財源		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 補助	<input type="checkbox"/> 負担金	<input type="checkbox"/> その他〔 〕		
	目的	博物館に収蔵する資料、調査研究の成果をわかりやすく市民に伝えるとともに、博物館の活動や役割を広く市民に紹介する。						
事業内容	博物館がこれまで取り組んできた活動、事業等により蓄積した成果を「博物館体験メニュー」として取りまとめ、学校や児童館などのグループに周知し、学習や活ドア腕の活用に務める。りんごの開花から収穫までを題材にした「りんごの1年」など4事業を学校・児童館で実施し、述べ218人の子どもたちが参加した。							
事業コスト	区分	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	特記事項	
	事業費(A)				4			
	うち一般財源				4			
	人件費(B)							
	総コスト(A)+(B)	0	0	0	4	0	※単位：千円	
実績と成果	区分	単位	H16	H17	H18	H19	H20	左記以外の19年度の実績・成果
	事業の実績 (アウトプット)	1						
	2							
	3							
	事業の成果 (アウトカム)	1						
	2							
3								
評価項目	点数	判定及び説明・考察						
1 適応性	8	①市民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。 ②事業を市が行う必要性があるか。						<input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
	博物館の収蔵・保管する資料、調査研究の成果を広く市民に伝えることは博物館の大切な使命であり、特に子どもたちにはよりわかりやすく伝えることが求められている。そして、博物館の活動をより理解してもらい、施設を利用してもらうためには、具体的にどのような学習や活動ができるかを示す必要がある。							
2 有効性	8	③事業の目的に照らして効果的な手法か。 ④施策や運営方針等の目的的実現に寄与しているか。						<input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
	市内の子どもたちは、休日は家族で訪れる機会はあるが、博物館との距離が離れている学校や児童等は、移動時間や交通手段の関係で利用しにくい現状がある。そのような課題に対して、アウトリーチ活動を行うことで少しでも多くの子どもたちが博物館活動に参加できる可能性を拡大できる。また、テーマを具体的に示すことにより、これまで見学が中心だった学習以外の様々な手法を提案できる。							
3 目標達成度	6	⑤目標の水準は適切か。 ⑥計画通りに目標を達成できたか。						<input type="checkbox"/> 4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
	児童館の利用が多い反面、学校の授業での利用が伸びていない。PR方法も課題だが、より学校との連携を強め、博物館が持つ専門性を学校の授業の中で有効活用してもらう方策を検討する必要がある。また、科学館メニューの利用が多いが、利用の少ない分野もあり、テーマや内容の見直しも図っていくことが必要である。							
4 経済性効率性	8	⑦コストは縮減しているか。 ⑧事務は効率的に行われているか。						<input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
	事業に必要な教材費等は参加団体に負担してもらっており、コストの縮減に務めている。							
総合評価	合計 ↓ 100 点換算	.30 /32	ランク (A~E) A	上記評価を踏まえた事業の課題	より一層の利用促進を図るため、メニュー・内容等を充実させるとともに、PRも積極的に行う必要がある。			
					<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 質的向上 <input type="checkbox"/> スピードアップ <input type="checkbox"/> 検証 <input type="checkbox"/> 現状維持			

## ◎外部評価

評価項目		点数	判 定					点検・評価に関するコメント		
1 適応性	8	① ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1	合計 ↓ 100	30 /32	・学校と連携するのであれば、早い時期に調整しなければ難しい。					
		② ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1			・学習指導要領や授業の内容なども研究し、授業で活用できるメニューも考える必要がある。					
2 有効性	8	③ ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1	点換算 /100	94 /100	・来年度学習指導要領が改訂になり、博物館の役割も重要なってくる。実際は学校との連携は難しいものがある。					
		④ ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1			・自治体が運営する努力は大変なものだが、他からの力も借りながら盛り立ててほしい。					
3 目標達成度	6	⑤ □ 4 ■ 3 □ 2 □ 1	ランク	A	・					
		⑥ □ 4 ■ 3 □ 2 □ 1			・					
4 経済性 効率性	8	⑦ ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1			・					
		⑧ ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1			・					